

芦刈まちづくり 勉強会

2022/12/11(日)

小城市 総務部 企画政策課 地域づくり係

説明のながれ

1) 経過

2) 現状

經 過

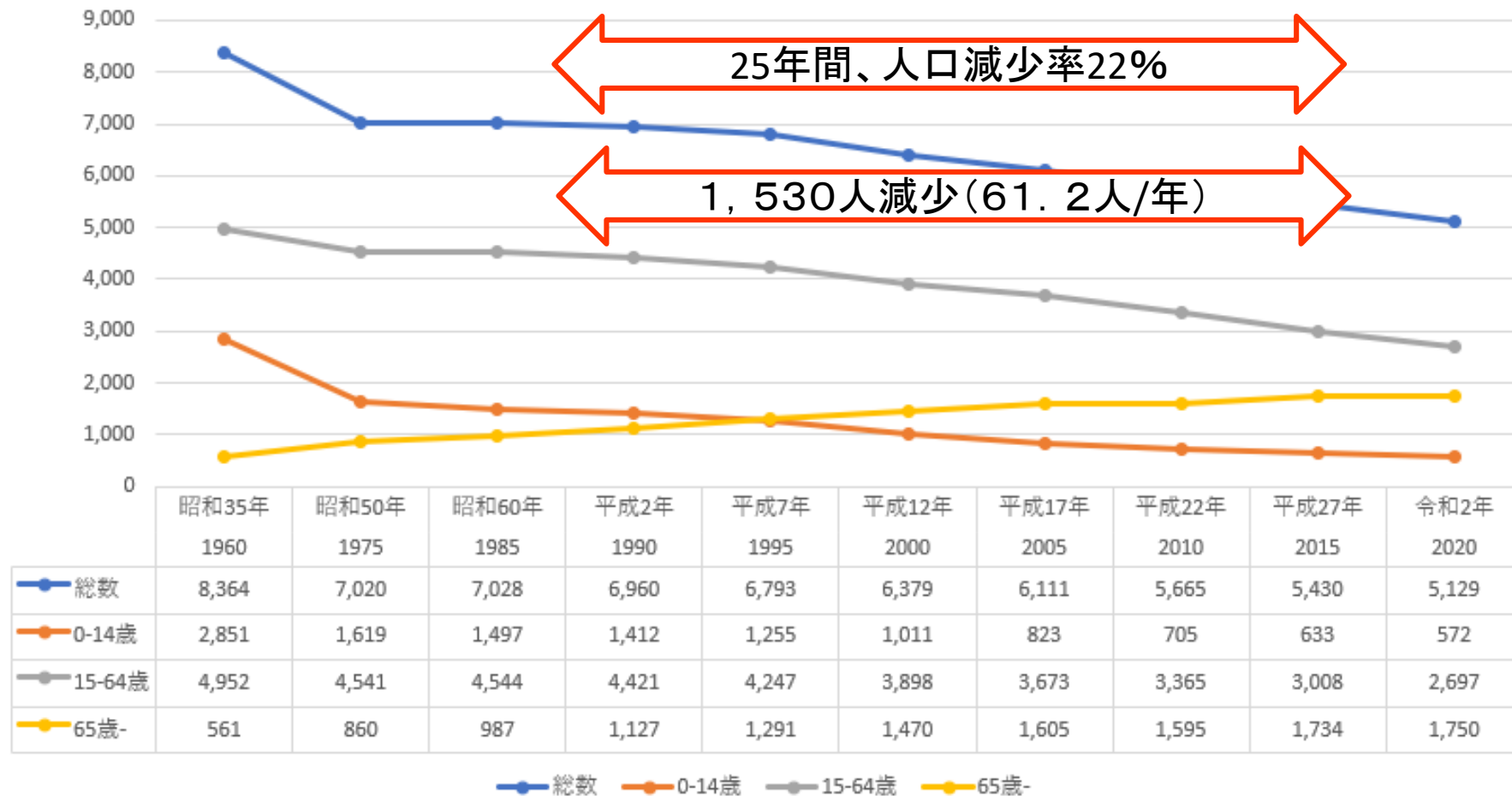
1) 経過 ①ー1

令和3年9月策定
「小城市過疎地域持続的発展計画」

- ・過疎地域指定要件
人口減少率・・・21%以上
25年間(H2～H27)

I) 経過 ①-2

芦刈町人口推移



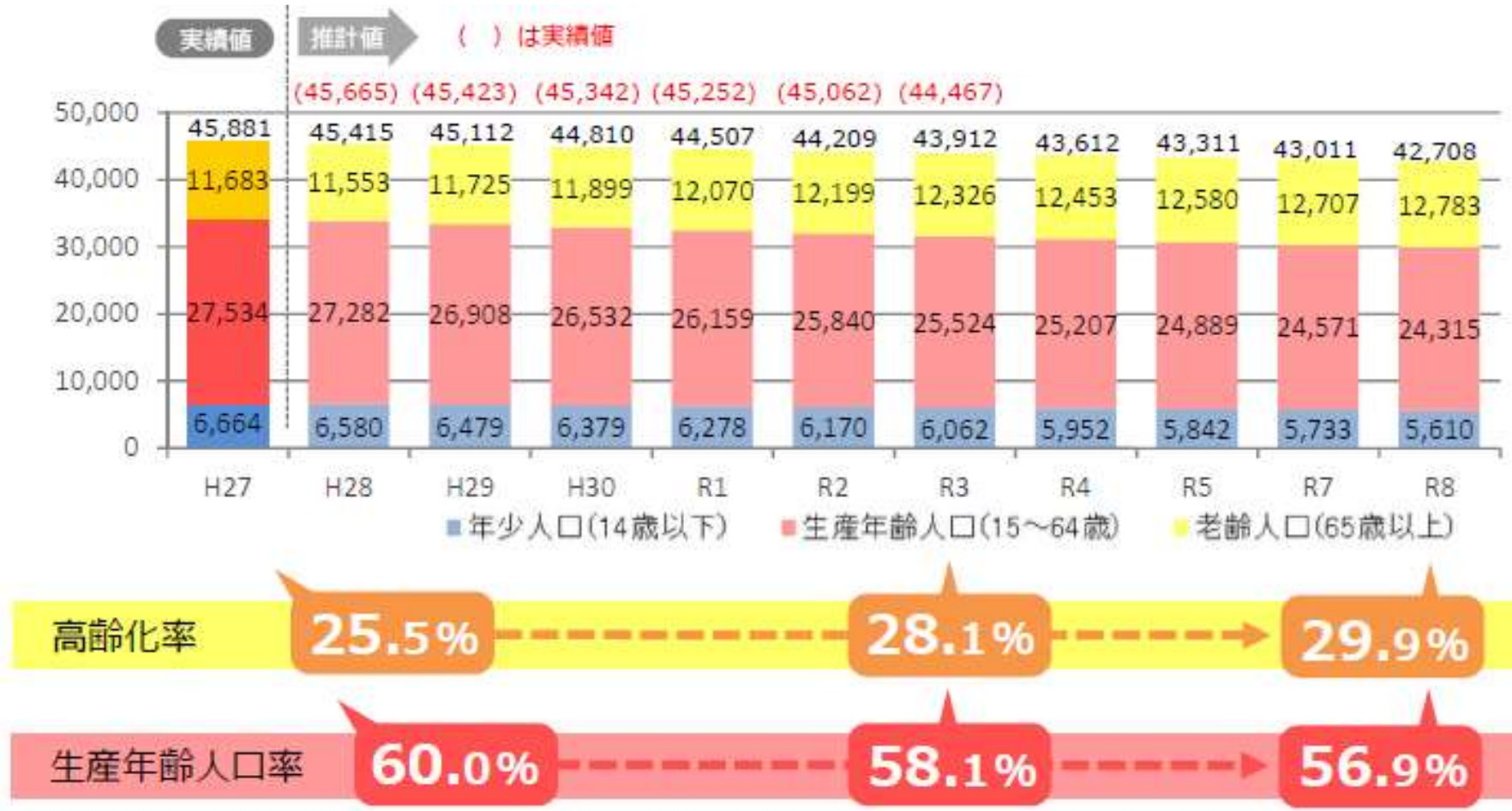
Ⅰ) 経過 ②-Ⅰ

引用：第2次小城市総合計画後期基本計画（抜粋）



1) 経過 ②-2

引用: 第2次小城市総合計画後期基本計画(抜粋)



Ⅰ) 経過 ②－3

単位(人)	平成22 (2010) 年	平成23 (2011) 年	平成24 (2012) 年	平成25 (2013) 年	平成26 (2014) 年	平成27 (2015) 年	平成28 (2016) 年	平成29 (2017) 年	平成30 (2018) 年	令和元 (2019) 年	令和2 (2020) 年	増減率 (%)
小城市全体	46,613	46,526	46,314	46,104	46,016	45,881	45,665	45,423	45,342	45,252	45,062	96.7
小城市 小城市町	17,031	16,778	16,572	16,372	16,179	16,126	15,964	15,806	15,666	15,647	15,597	91.6
三日月町	13,387	13,617	13,757	13,887	13,950	13,918	13,973	14,110	14,166	14,320	14,249	106.4
牛津町	10,275	10,292	10,221	10,116	10,229	10,195	10,156	10,031	10,071	9,916	9,917	96.5
芦刈町	5,920	5,839	5,764	5,729	5,658	5,642	5,572	5,476	5,439	5,369	5,299	89.5

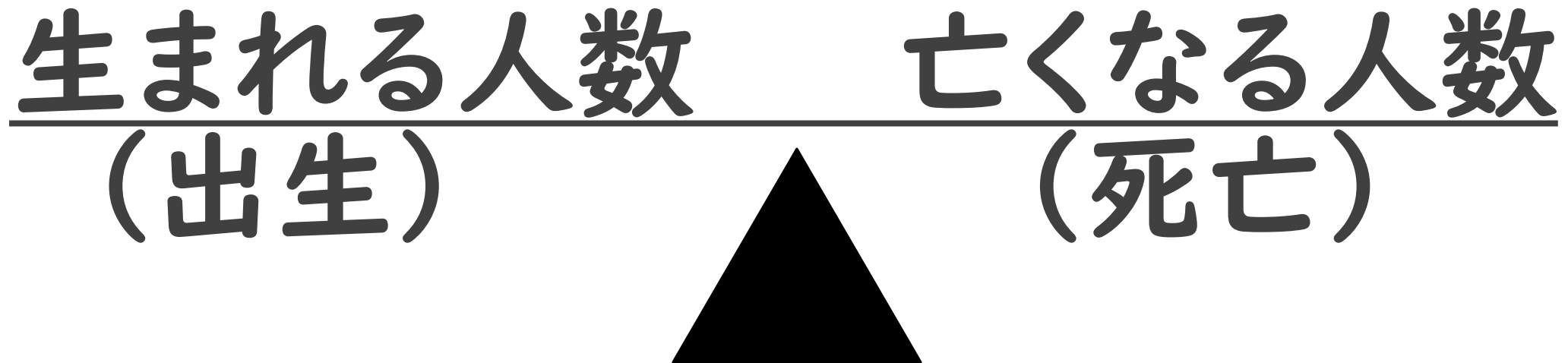
資料：住民基本台帳(各年10月1日現在)

注：増減率は、平成22(2010)年を100とした場合の令和2(2020)年の割合を示している。

現 状

2) 現状 ①ーⅠ

自然増減



2) 現状 ①ー2

5年間で（**自然増加**）が高い地区

		自然動態
1	牛王	127
2	町分	-1
3	立野	-2
4	虎坊	-3
5	浜中	-4

2) 現状 ①ー3

5年間で（**自然増加**）が低い地区

22	下古賀	-26
23	芦刈永田	-27
24	住の江西	-31
25	六丁	-32
26	弁財	-37

2) 現状 ①ー4

5年間で(出生)が多い地区

		出生
1	牛王	165
2	町分	29
3	浜中	25
4	芦刈永田	21
5	東戸崎	19

2) 現状 ①ー5

5年間で(出生)が少ない地区

21	立野	3
22	虎坊	3
23	芦刈中村	3
24	高道	2
25	西道免	2
26	中溝	1

2) 現状 ①ー6

5年間で(死亡)が少ない地区

		死亡
1	立野	5
2	虎坊	6
3	八枝	12
4	東道免	12
5	芦刈中村	14

2) 現状 ①ー7

5年間で(死亡)が多い地区

22	六丁	40
23	小路	42
24	弁財	44
25	住の江西	45
26	芦刈永田	48

2) 現状 ②ー1

社会増減

↑IN 入ってくる人数(転入)

出ていく人数(転出) OUT↓

2) 現状 ②ー2

5年間で（社会増加）が高い地区

		社会動態
1	牛王	103
2	西道免	4
3	虎坊	2
4	町分	1
5	芦刈中村	1

2) 現状 ②ー3

5年間で(社会増加)が低い地区

22	下古賀	-30
23	弁財	-30
24	住の江西	-30
25	西戸崎	-32
26	芦刈永田	-40

2) 現状 ②ー4

5年間で(転入)が多い地区

		転入
1	牛王	504
2	町分	146
3	芦刈永田	74
4	浜中	70
5	小路	66

2) 現状 ②－5

5年間で(転入)が少ない地区

22	社搦	14
23	八枝	11
24	中溝	8
25	虎坊	7
26	立野	5

2) 現状 ②ー6

5年間で(転出)が少ない地区

		転出
1	虎坊	5
2	立野	12
3	中溝	13
4	八枝	15
5	芦刈中村	15

2) 現状 ②ー7

5年間で(転出)が多い地区

22	浜中	81
23	下古賀	83
24	芦刈永田	114
25	町分	145
26	牛王	401

2) 現状 ③ーⅠ

5年間の総合評価【人口動態が高い】

		死亡	出生	転出	転入	人口動態
1	牛王	38	165	401	504	230
2	町分	30	29	145	146	0
3	虎坊	6	3	5	7	-1
4	立野	5	3	12	5	-9
5	東道免	12	4	27	26	-9

2) 現状 ③ー2

5年間の総合評価【人口動態が低い】

22	下古賀	38	12	83	53	-56
23	六丁	40	8	61	32	-61
24	住の江西	45	14	60	30	-61
25	弁財	44	7	56	26	-67
26	芦刈永田	48	21	114	74	-67

昨年度の人口①

	令和 2 年 10 月 1 日	令和 3 年 10 月 1 日	前年比 (率)
住民基本台帳人口	5,297 人	5,249 人	△48 人 (△0.9%)

国勢調査は、5 年に 1 回 10 月 1 日を基準日として実施されているため、10 月 1 日現在の住民基本台帳人口で比較している。

住民基本台帳人口は、令和 2 年 10 月 1 日現在の 5,297 人から令和 3 年 10 月 1 日現在は 48 人減少 (△0.9%) して 5,249 人となっており、人口減少が進んでいる。

昨年度の人口②

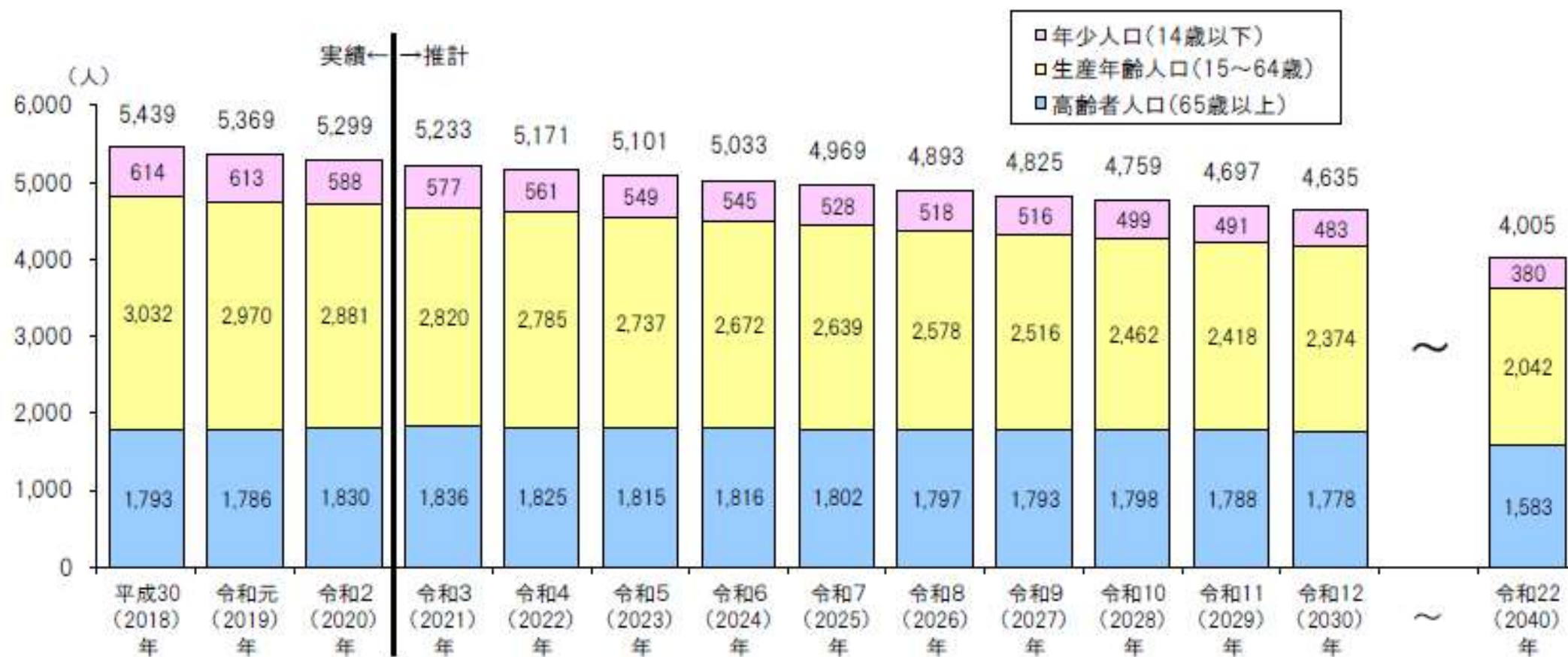
【参考】令和3年度芦刈町の人口動態 対象期間：令和3年4月1日～令和4年3月31日

出生	死亡	転入	転出	市内転居	合計
44 人	84 人	158 人	174 人	△39 人	△95 人

	転入者の前住所地	転出者の新住所地	転入者-転出者
県 内	113 人	131 人	△18 人
県外（九州内）	25 人	24 人	1 人
県外（九州外）	20 人	19 人	1 人
合 計	158 人	174 人	△16 人

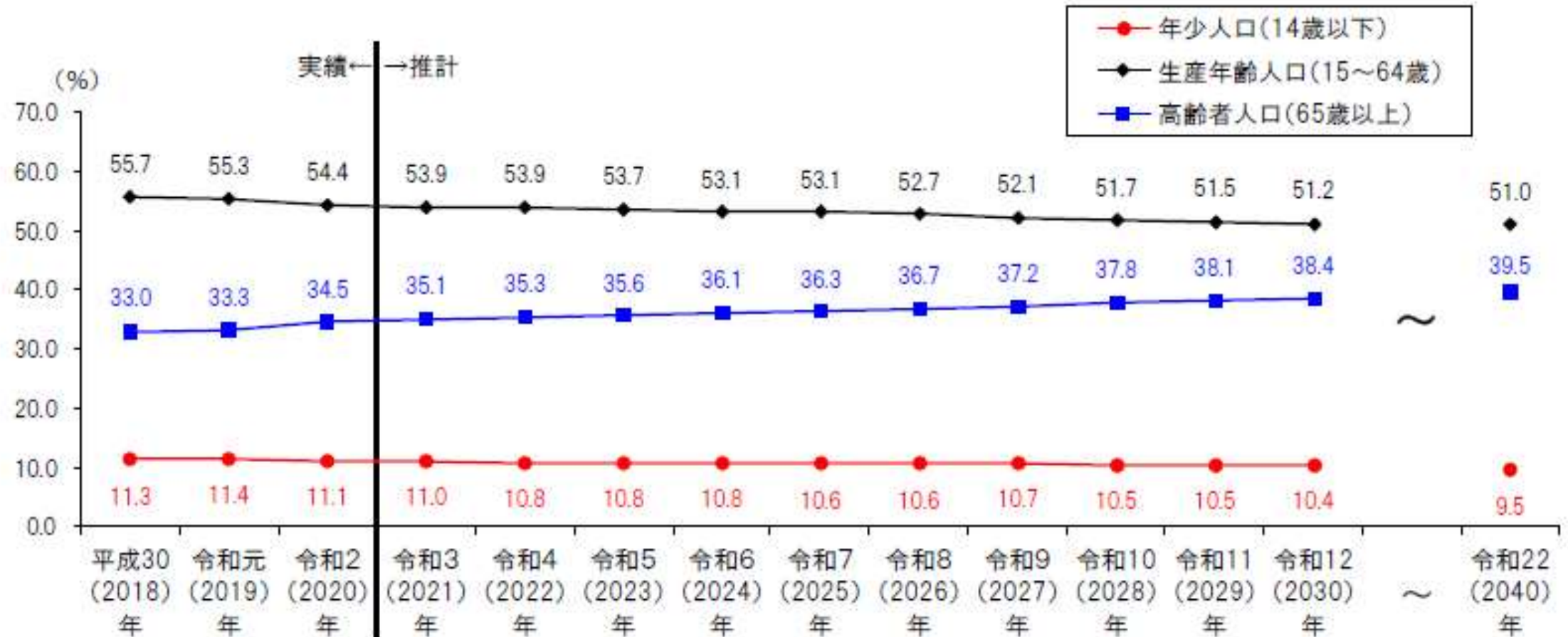
将来の人口予測

【年齢3区分別人口の推移（芦刈町）】

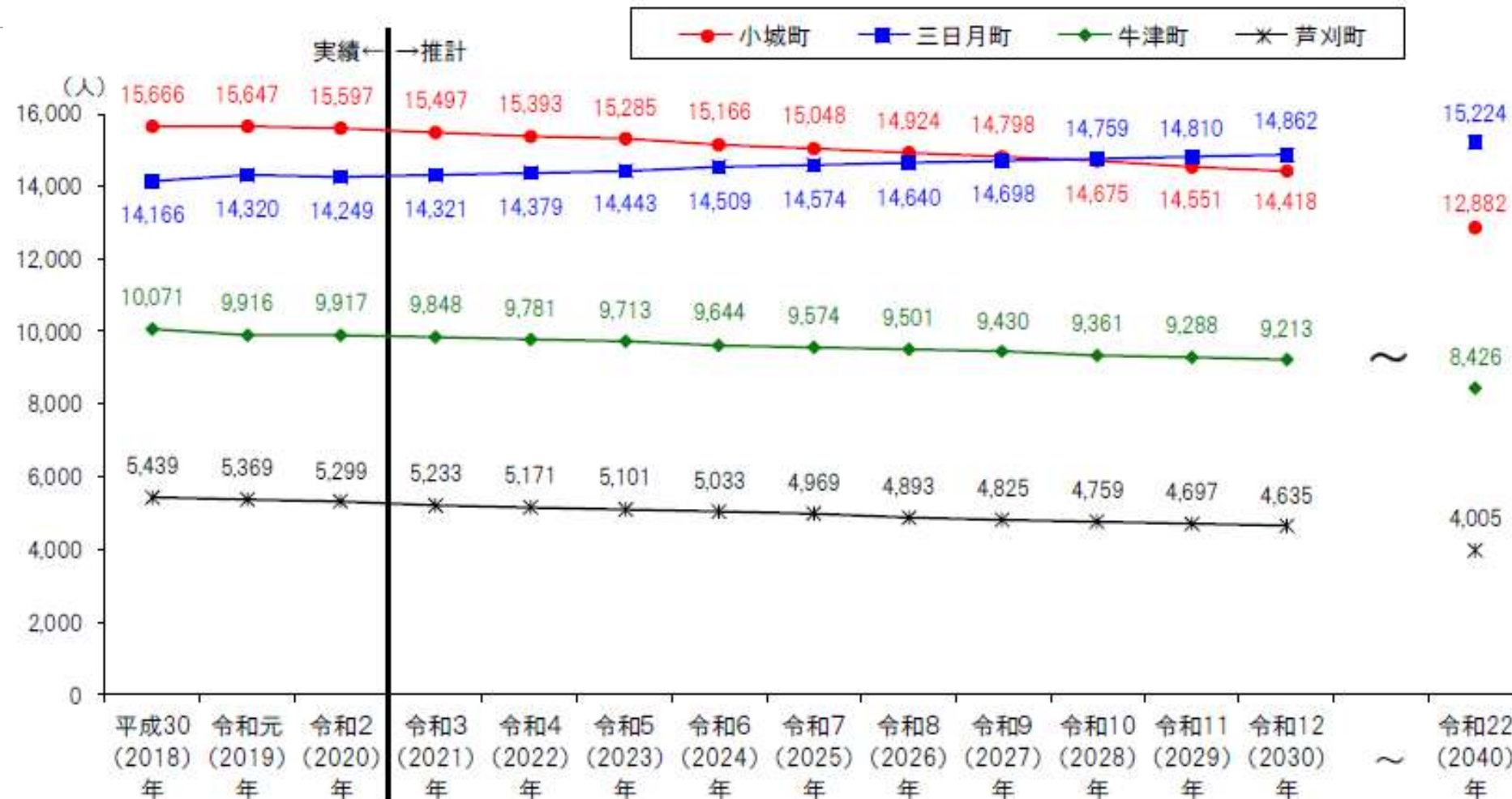


将来の人口予測

【年齢3区分別人口構成比（芦刈町）】



将来の人口予測（市）



現状から読み取れる課題

少子高齢化の進行による人口の自然減少、転出増加という社会減少によって起こる人口減少問題、それに伴う若年層の減少による人口構成の高齢化は、将来的に地域コミュニティの維持が困難になるなどの影響を与えます。

また、人口減少問題は、住民生活の活力の低下を招くばかりでなく、地域経済や財政にも大きな影響を及ぼし、地域の存立基盤に関わる問題となります。

現状から読み取れる課題

- 1 産業・経済への影響
- 2 住民生活への影響
- 3 行財政への影響

ご清聴ありがとうございました。